

☐ ☒

☒ ☐
 スマート農業推進協議体からのお知らせ NO198

[illegible][illegible]

- 1 令和6年度当初予算「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」事業公募について
- 2 農業支援サービス事業者の募集について

◎ 令和 6 年度当初予算「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」事業公募について

生研支援センター（BRAIN）では、令和 6 年度当初予算「次世代スマート農業技術の開発・改良・実用化」（以下「本事業」）を国から交付される運営交付金により実施します。

生産現場スマート化を加速するために必要な農業技術を開発・改良するため、本事業で研究開発の実施を希望する公募が実施されます。

【公募の概要】

事業趣旨：人口減少化においても生産力を維持できる生産性の高い農業を実現するため、生産現場における技術ニーズを踏まえつつ、生産性の向上に資するスマート農業技術について、難易度の高い等の技術開発・改良を推進

事業内容：上記技術開発・改良に係る研究費を支援（生研支援センターからの委託）

公募期間：6 月 7 日（金）～7 月 5 日（金）12 時

採択予定：本年 9 月上旬

【主な要件】

・あらかじめ指定された技術（公募対象技術）を対象に研究すること（品目も指定されていますので詳細は公募要領をご覧ください。公募対象技術以外の研究テーマで応募することは出来ません。）

- ・社会実装が明確に計画されていること
- ・研究機関等を含むコンソーシアムであること

【研究費の上限】

- ・「革新的シーズ開発実現・栽培体系改良型」 1.8 億円/年
- ・「現場ニーズ改良実現・栽培体系改良型」 1.4 億円/年

【研究実施期限】

- ・3 ヶ年（最大で令和 9 年 3 月末まで）

【参考 URL】

<https://www.naro.go.jp/laboratory/brain/smart-nogyo/offering/koubo/2024-2.html>

「

| その 2 |

」

◎農業支援サービス事業者の応募について

農林水産省では、農業支援サービス事業を広く農業者等に普及させる取組を進めています。

これにあたり、農業者等が各種農業支援サービスを比較・選択できる環境整備の一環として、農林水産省で農業支援サービス情報表示ガイドラインを策定しており、このガイドラインに沿った情報表示に協力いただける農業支援サービス事業者を募集しています。

応募のあったサービス事業者のサービス概要やサービス対象地域・品目・サービス利用料金等のリストについては農林水産省 Web ページで公開しています。

掲載中のリストや様式については、参考 URL の「2.農業支援サービス事業者情報」からご覧いただけます。

【参考 URL】

<https://www.maff.go.jp/j/seisan/sien/sizai/service.html>